



自分の身を守ること(不審者対応避難訓練)

1月16日(金)に不審者対応の避難訓練を行いました。この日は、愛媛県警本部の方をお招きして、不審者が校内に侵入したことを想定して訓練を行いました。今回、結果的には5年生の教室がある3階で不審者役を取り押さえましたが、不審者は校内のどの場所に現れるかは分かりません。時間も関係ありません。万が一の際には、私たち教職員が子どもたちを全力で守ることを子どもたちに伝えた上で、それでも自分の身は自分で守ることの必要性も話しました。「私は大丈夫」というような安易な思い込みはかえって危険です。正しく恐れることが大事です。また、休み時間だったら、給食の時だったら、トイレに行っているときだったら、というようにいろいろな場合を考える習慣をつけることも身を守ることにつながることを子どもたちに伝えました。



県警の方が全校に向けてお話しされた、校外での不審者対策についても同様です。不審者はどこに現れてもおかしくありませんので、十分に気を付けておく必要があります。不審者が現れやすいのは、「子どもだけになりやすい場所」です。具体的には、道路、駐車場、公園、集合住宅の共用部分などが例として挙がっていました。人通りが少ない場所、薄暗い場所は子どもたちだけで訪れるのは避けた方がよいでしょう。防犯笛、防犯ブザー(電池の確認)の携帯、まもる君の家の確認も必要です。



万が一の時に備えて、引き続き子どもたちには安全指導をしていきますので、保護者の皆様も、校外での不審者対策についてお話をさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

校内書き初め大会について

1月13日から16日にかけて、3年生以上は、学年単位で校内書き初め大会を行いました。1、2年生は、学級単位で硬筆の書き初めを行いました。書き初めは、新年の決意を書に表す行事です。少しずつ手書きをすることが少なくなってきた



いる時代だからこそ、書写で丁寧に文字を書く活動の価値が高まっているのではないのでしょうか。書写で学習した筆使いを生かして、止め、はらい、文字の大きさのバランス、行の中心などに気を付けて丁寧に書ける方がよりよいと思います。しかし、字形が整っていない、大きさがそろっていないといった作品も個性的でよいと思います。どんなにつたなくても、自分が書くことに意味があり、そこに作品のよさが見て取れます。それは、絵も同じです。A1には出すことのできないよさだと思います。

